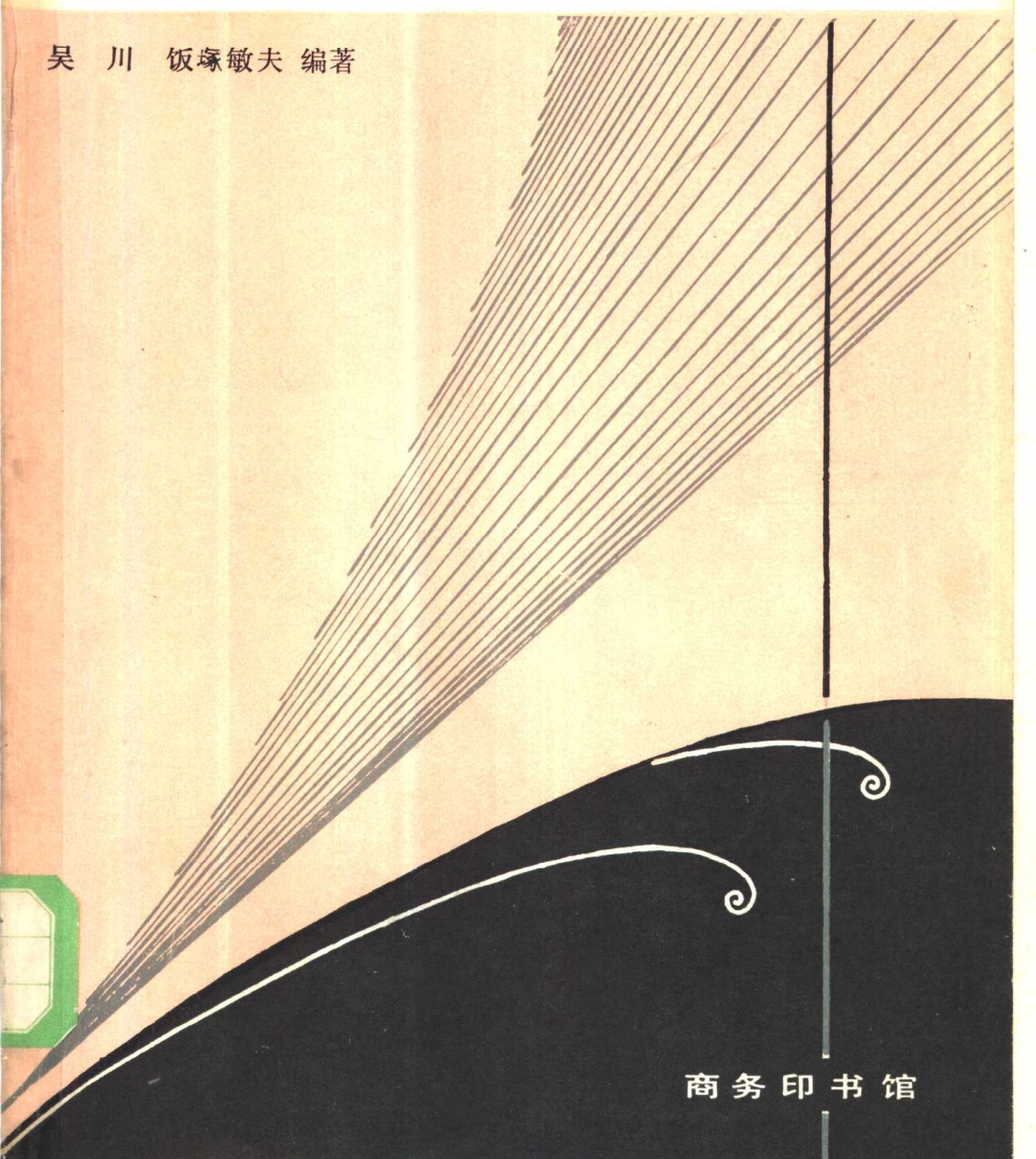


日语文言文基础知识

日语自学丛书

吴 川 饭塚敏夫 编著



商务印书馆

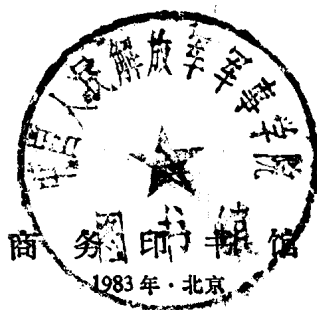


2 031 2892 6

日语自学丛书

日语文言文基础知识

吴 川 饭塚敏夫 编著



日语自学丛书
日语文言文基础知识
吴 川 饭塚敏夫 编著

商 务 印 书 馆 出 版
(北京王府井大街 36 号)
新华书店北京发行所发行
六 〇 三 厂 印 刷
统一书号: 9017·1330

1983 年 9 月第 1 版	开本 787×1092 1/32
1983 年 9 月 第 1 次印刷	字数 254 千
印数 32,000 册	印张 9 1/4

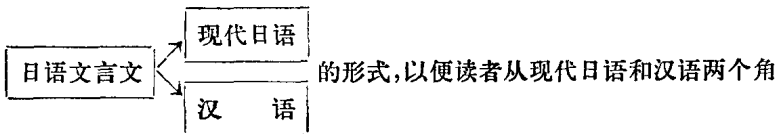
定价: 1.05 元

前 言

本书是介绍日语文言文基础知识的入门读物,对象是大专院校日语专业的学生和有一定现代日语基础的自修者,也可作为有关教师和研究人员参考。

在内容上,本书着重介绍学习日语文言文所必须的语法、修辞方面的知识。在尽可能简明扼要的同时,也照顾到了知识的系统性。根据学习的实际需要,在语法知识部分,没有按照传统的分类方式从名词类讲起,而是先介绍历史假名的拼写法,然后以用言的活用和助动词、助词的用法为重点分类排列和介绍的。对于那些与现代日语差别不大又较易理解的内容,叙述适当从简。在修辞知识部分,也本着上述原则,重点介绍那些在散文和韵文作品中比较常见的修辞手法。

在解说上,为了易于理解,重点部分均加了文、口语的比较,以及归纳和识别等。文言文例句均配有现代日语和汉语两种译文。译文为



度来比较、理解原文。

在标记上,文言文例句中的汉字均注有历史假名,以便使读者熟悉和掌握历史假名拼写法。有关的助动词、助词部分,均用黑体字标出;需要提示的重点部分,也都分别用不同符号加以注明。

此外,我们还根据各个章节学习内容的需要,本着“由浅入深,由易到难”的原则,选编了一定数量的练习,并附有练习解答,以便读者自学。

本书在编写时，从我国读者学习的需要和特点出发，参考、汲取了日本文言文教学和研究方面的最新成果，最后由日本专家饭塚敏夫先生审阅了全书。书稿完成之时，正值中日两国邦交正常化十周年之际。我们由衷地希望这本书能为读者学习日语文言文提供一点帮助，成为学习的有用参考，从而进一步促进中日两国的文化交流和两国人民的友好事业不断深入、发展。

限于水平、资料和时间，遗漏及不妥之处在所难免，恳请广大读者批评指正。

在本书编写过程中，承蒙日本朋友冲宗茂树、铃木三郎、西村隆治先生和酒井初惠、竹之下良子女士等人提供有关资料，谨在此表示深切的谢意。

作 者

一九八二年八月

于北京

引用作品一覧

一、奈良時代(上代)

1. 和歌

《万葉集》(まんようしゅう)

2. 神話、伝説

《古事記》(こじき)

二、平安時代(中古)

1. 和歌

《古今和歌集(古今集)》(こきんわかしゅう・こきんしゅう)

《拾遺和歌集(拾遺集)》(しゅういわかしゅう・しゅういしゅう)

《後拾遺和歌集(後拾遺集)》(ごしゅういわかしゅう・ごしゅういしゅう)

《金葉和歌集(金葉集)》(きんようわかしゅう・きんようしゅう)

《詞花和歌集(詞花集)》(しかわかしゅう・しかしゅう)

2. 説話

《今昔物語》(こんじゃくものがたり)

《古本説話集》(こほんせつわしゅう)

3. 物語

《竹取物語》(たけとりものがたり)

《宇津保物語》(うつぼものがたり)

《落窪物語》(おちくぼものがたり)

《伊勢物語》(いせものがたり)

《源氏物語》(げんじものがたり)

《大鏡》(おおかがみ)

《堤中納言物語》(つつみちゅうなごんものがたり)

4. 日記

《土佐日記》(とさにっき)

《蜻蛉日記》(かげろうにっき)

《紫式部日記》(むらさきしきぶにっき)

《更級日記》(さらしなにっき)

5. 随筆

《枕草子》(まくらのそうし)

三、鎌倉時代(中世)

1. 说话

《宇治拾遺物語》(うじしゅういものがたり)

《十訓抄》(じっくんしょう)

《古今著聞集》(ここんちょもんじゅう)

2. 物語

《保元物語》(ほうげんものがたり)

《平家物語》(へいけものがたり)

《源平盛衰記》(げんぺいせいすいき)

3. 日記

《十六夜日記》(いざよいにっき)

4. 随筆

《方丈記》(ほうじょうき)

《徒然草》(つれづれぐさ)

四、室町時代(中世)

1. 和歌

《新古今和歌集(新古今集)》(しんこきんわかしゅう・しんこきんしゅう)

2. 謡曲

《土蜘蛛》(つちぐも)

3. 物語

《太平記》(たいへいき)

4. 御伽草子^{おとぎぞうし}

五、江戸時代(近世)

1. 紀行

《奥の細道》(おくのほそみち)

2. 浮世草子^{うきよぞうし}

《諸道徳耳世間猿》(しょどうききみみせけんざる)

目 录

前 言	i
第一章 绪论	1
一、日语的文言和文言文	1
二、日语的文言语法	2
三、怎样学习日语文言文	3
第二章 日语文言与口语的区别	6
一、假名拼写不同	6
二、词汇词义不同	8
三、语法规则不同	10
第三章 日语文言语法知识	13
第一节 历史假名拼写法	13
一、短音类	13
二、长音类	16
第二节 语言的单位	19
一、句子	19
二、句节	20
三、句节的种类	20
四、单词	21
五、独立词和附属词	21
六、活用	22
七、体言和用言	22
八、品词分类	22

第三节 动词、形容词、形容动词——用言	24
一、动词	25
1. 特点	25
2. 活用形	26
3. 活用种类	28
4. 四段活用	29
5. 上一段活用	33
6. 上二段活用	36
7. 下一段活用	40
8. 下二段活用	42
9. カ行变格活用	47
10. サ行变格活用	50
11. ナ行变格活用	54
12. ラ行变格活用	57
13. 动词活用种类归纳	60
14. 动词活用种类识别法	60
15. 动词活用记忆法	61
16. 动词的音便	61
(1) イ音便	62
(2) ウ音便	62
(3) 拨音便	62
(4) 促音便	63
17. 自动词和他动词	63
二、形容词、形容动词	67
1. 形容词	67
(1) 特点	67
(2) 活用种类和活用形	68

(3) 活用表·····	70
(4) 文口语比较·····	71
(5) 活用种类识别法·····	72
2. 形容动词·····	74
(1) 特点·····	74
(2) 活用种类和活用形·····	75
(3) 活用表·····	77
(4) 文口语比较·····	77
(5) 形容动词识别法·····	78
3. 形容词、形容动词的音便·····	80
(1) ウ音便·····	81
(2) イ音便·····	81
(3) 拨音便·····	81
4. 形容词、形容动词词干的用法·····	82
三、补助用言·····	83
1. 补助动词·····	83
2. 补助形容词·····	84
第四节 助动词·····	86
一、助动词的特点·····	86
二、助动词的学习·····	86
三、助动词的分类·····	87
四、过去助动词·····	89
き けり	
五、完了助动词·····	92
つ ぬ たり り	
六、推量助动词·····	98
む むず べし(べらなり)	

けむ　らむ　らし　めり まし	
七、否定助动词	115
ず	
八、否定推量助动词	120
じ　まじ	
九、传闻、推断助动词	124
なり	
十、断定助动词	125
なり　たり	
十一、被动、尊敬、可能、自发助动词	129
る　らる	
十二、使役、尊敬助动词	130
す　さす　しむ	
十三、愿望助动词	133
たし　まほし	
十四、比况助动词	134
ごとし	
十五、奈良时代的助动词	136
ゆ　らゆ　す　ふ	
十六、助动词的音便	138
第五节　助词	141
一、助词的特点	141
二、助词的学习	141
三、助词的分类	141
四、格助词	142
が　の　を　に　へ　と	

より から にて して	
五、接续助词	155
ば とも ど ども が	
に を て して で	
つつ ながら [ものの	
ものから ものを]	
六、副助词	169
だに すら さへ し	
のみ ばかり など まで	
七、系助词	174
は も ぞ なむ や	
か こそ	
八、系结法则	179
1. 系助词的呼应	179
2. 呼应词的省略	179
3. 系结关系的消失	180
4. 其他	180
九、终助词	185
な(禁止) な(感叹) そ	
ばや なむ てしが(な)	
にしが(な) もが(な)	
か かな かし	
十、间投助词	191
や よ を	
十一、奈良时代的助词	192
よ ゆ な ね かも	
も	

第六节 名词、副词、连体词、

接续词、感叹词·····	194
一、名词·····	195
二、副词·····	196
三、连体词·····	201
四、接续词·····	202
五、感叹词·····	203
第七节 敬语·····	205
一、敬语的种类·····	205
1. 尊他语·····	205
2. 自谦语·····	206
3. 礼貌语·····	206
二、敬语的表达方式·····	206
1. 尊他表达·····	206
2. 自谦表达·····	208
3. 礼貌表达·····	209
三、需注意的敬语·····	210
1. 敬语的重复·····	210
(1) 最高敬语·····	210
(2) 对双方表示敬意·····	210
2. 特殊的敬语表达·····	211
(1) 自尊敬语·····	211
(2) 绝对敬语·····	212
第八节 句子·····	215
一、句节的关系·····	215
1. 主谓关系·····	216
2. 修饰关系·····	216

3. 并列关系·····	217
4. 补助关系·····	217
5. 独立关系·····	218
二、连句节·····	218
三、句子结构分析·····	220
1. 包含主题部和叙述部的句子·····	220
2. 包含修饰部和被修饰部的句子·····	221
3. 倒装句·····	221
4. 省略句·····	222
5. 插入句·····	223
四、句子的分类·····	225
1. 按意义分类·····	225
(1) 陈述句·····	225
(2) 疑问句·····	225
(3) 命令句·····	225
(4) 感叹句·····	225
2. 按结构分类·····	226
(1) 单句·····	226
(2) 复句·····	226
(3) 并列句·····	226
第九节 文言语法的变迁·····	227
一、大和、奈良时代(上代)·····	228
二、平安时代(中古)·····	230
三、镰仓、室町时代(中世)·····	232
四、江户时代(近世)·····	234
五、明治以后(近、现代)·····	236
第四章 日语文言修辞知识·····	239
一、一般的修辞手法·····	239

1. 对偶	239
2. 引用	242
3. 比喻	244
4. 拟人	246
二、特殊的修辞手法	247
1. 和歌的修辞	247
(1) 枕词	247
(2) 序词	249
(3) 双关	250
(4) 缘语	251
(5) 用典	252
(6) 体言终结	253
(7) 断句	254
2. 俳句的修辞	256
(1) 季语	256
(2) 断字	258
附 录	260
一、附表	260
1. 动词活用表	260
2. 形容词活用表	262
3. 形容动词活用表	262
4. 奈良时代助动词活用表	262
5. 助动词活用表	262
6. 助词意义、用法表	263
7. 奈良时代助词意义、用法表	265
二、练习解答	266
三、索引	287

第一章 绪论

一、日语的文言和文言文

日语的文言(文語)是与口语(口語)即现代日语相对而言的,最初是日本人民在古代会话中使用的口头语言(話し言葉),以后,又被长期用作书面语言(書き言葉)。用文言写成的文章,叫做文言文(文語文)。例如:

(1) 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さかきの造となむいひける。

(2) 今では、もう昔のことだが、竹取の翁という者がいたそう。野や山にはいって、竹を取っては、それをいろいろなことに使った。その翁の名は、さかきの造といったそう。

例(1)是日本古典文学作品《竹取物语》的开头部分,例(2)是它的现代日语译文。日语中把例(1)这样的文章叫做文言文,把例(2)这样的文章叫做白话文(口語文)。

日语的文言随着时代的变迁而多少有些不同,但大体上可分为两类:

1. 旧文言(古い文語); 2. 新文言(新しい文語)。也称“古代文言”和“近代文言”。

1. 旧文言(古代文言)——以日本平安时代(公元794~1191)的语法为基础的文章语言。日本的古文、拟古文等均属此类。

2. 新文言(近代文言)——以平安时代的语法为基础,采用汉文的训读方式的文章语言。主要用于日本明治维新(公元1868)以后。

在现代日语中,仍然保留着一些文言的成份。例如,在日本的现代小